

混合ガス療法

混合ガス療法とは

聴力や平衡機能に欠かせない内耳や脳も、血液が運ぶ酸素と栄養が必要となります。

しかし、血液が不足しては十分な働きができません。

混合ガス療法は耳鼻咽喉科などで処方される方法で、混合ガスにより内耳の血流をよくして**難聴**の症状を回復させることができます。

また混合ガス療法は難聴だけではなく、**耳鳴り**や**めまい**などの症状も良くすることができますが、保険適用なのは**難聴**に対する治療のみです。

混合ガス療法の原理

二酸化炭素の持つ特性である、血管拡張作用を利用する「混合ガス療法」では、二酸化炭素を使用します。

二酸化炭素には血管を広げる作用があることがわかっています。

通常の大気の組成は、窒素約78%、酸素約21%、二酸化炭素約0.03%となっています。

一方の混合ガスの組成は、酸素約95%、二酸化炭素約5%となっています。

混合ガス療法の原理は、純酸素に5%の炭酸ガスを混ぜたガス(混合ガス)を吸入することにより、脳に行く血管が拡張し、脳にたくさんの血液が流れるにともない、内耳への血流を増加、改善させるというものです。

混合ガス療法の方法

混合ガス療法を受ける患者さんは、椅子に座ってマスクをつけて吸入するだけです。

通院しながら、吸入時間は原則として**1回30分**、**1日1回**行います。**14日**ほど続けて受けると、症状の改善の効果が確認されます。

混合ガス療法は副作用の心配はありません。また、混合ガスには軽い催眠作用があるため、リラックス効果も得られます。

ただし、混合ガス療法を実施している医療機関はまだ京都府内でも限られています。

また保険適用なのは**難聴**に対する治療のみで、**耳鳴り**や**めまい**などの症状の場合は保険適用外となり実費になります。

当院では実費の場合1回1450円で実施しております。お気軽にお問い合わせください。